

# 北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名 令和6年度 第4回 精神部会

開催日時 令和6年12月13日(金)13:30~15:00

## 参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所健康づくり支援課、北信保健福祉事務所福祉課、中野市福祉課、飯山市保健福祉課、山ノ内町健康福祉課、木島平村民生課、野沢温泉村民生課、栄村民生課、北信総合病院、佐藤病院、りんごの木共同作業所、NPO ここから、飯山市地域活動支援センター、つくしの家、クローバー、未来工房つむぎ、訪問看護ステーションせせらぎ、訪問看護ステーションあやめ中野、デイホームこころ、ほくしん圏域就業・生活支援センター、北信圏域障害者総合相談支援センター

## 本日のテーマ、課題等

- ① 他部会の活動状況の共有
- ② 第2回北信地域障がい福祉自立支援協議会の報告
- ③ 各委員会に分かれて
- ④ その他

## 会議で話し合われた事

### (1)他部会の活動状況

- 権利擁護部会:研修会のお知らせ(別紙参照)。

### (2)第2回北信地域障がい福祉自立支援協議会の報告

- 各部会の活動状況が共有された。
- 協議会内で実施された「強度行動障がいに関する学習会」の内容が共有された。

### (3)各委員会に分かれて(全体共有)

#### ○普及啓発委員会

- 資源マップの改定について
  - 相談先の追加:就業・生活支援センターを新たに記載。
  - 標記の順序変更:「過ごし」から「働く」へ順序を再構成し、利用者が流れを把握しやすくする。
  - 送迎情報の明記:各施設やサービスの送迎の有無を分かりやすく記載。
  - アクセス情報の充実:最寄りのバス停や駅などの情報を記載し、交通手段を明確化。
- 今後の普及啓発活動について
  - 権利擁護部会から報告される差別発生事例を基に、まずは一般企業を対象に実施する方針とする。
  - 民生委員・児童委員や行政窓口を対象とする意見もあったが、対象を一般企業に絞ることで認識を統一。これは、合理的配慮の義務化が進む中で、障がいを理由とした不利益を障がい児者が被ることがないように、企業側の理解促進と対応強化が重要であるため。

#### ○地域移行支援委員会

- 事例検討の実施
  - ポイントとして以下の意見が出された
    1. 障がいを持つ方の家族のサポート体制。
    2. キーパーソンがいなくなった際の地域生活の難しさ。
    3. 早期介入による入院防止の必要性。
    4. 本人に合った統一した支援・本人の強みを生かした支援について。
  - 今後、具体的な活動につなげられるよう調整する。

(4)その他